

『サムライアライアンス』の結成。若さを前面に出すことで生まれたグループ感

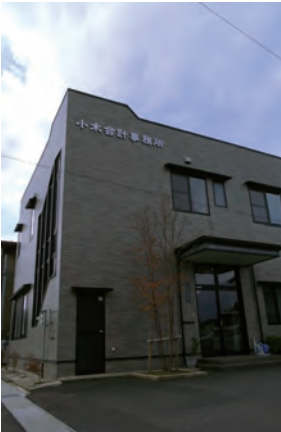


写真／5名の専門家が集結した『サムライアライアンス』のPR用に撮影した写真。見ている側の気持ちも思わず和む。「チーム力」が一発で伝わる一枚。メンバーは前列右から、小木崇永税理士、吉村征浩中小企業診断士、今井順也社労士、後列右が土田康博司法書士・土地家屋調査士、左が神田芳和弁護士

写真／今回の取材には小木崇永税理士（写真左）のほか、土田康博司法書士・土地家屋調査士（同右）も協力。土田氏は越前市に6名の事務所を構えている。登記と測量が中心業務

小木崇永税理士事務所

since 2002, 9 persons, echizen city



写真左／小木崇永税理士事務所の外観。小木会計は祖父の代から続く歴史のある事務所。2002年に承継

写真下列／地元紙に取材されたときの記事（左）とサムライアライアンスのロゴ（右）



最初に聞いてみたのは、総合事務所への対抗意識。

「あまり意識していないですね」と言うのは『サムライアライアンス』の事務局であり、リーダー的存在である小木崇永税理士事務所（越前市）の小木崇永税理士。

『サムライアライアンス』とは、福井県の弁護士、税理士、司法書士、社会保険労務士、中小企業診断士の5人で結成したユニットのこと。結成は2010年。ネーミングやデザインなど、とても斬新な取り組みで業界内外の注目を集める。

「総合系の事務所とは、ワンストップサービスという意味で方向性は同じですが、理念が違います」（小木氏）

では、サムライアライアンスの理念とは何か――。

「自分達が楽しく仕事があ

きる。それによってお客様にも（利便性はもちろんですが）一緒に楽しんでもらえることです」（同氏）

それが達成できれば、総合事務所に勝とうが負けようが関係ない。そう考えるから「意識していない」と話す。サムライアライアンスという「輪」の中に、お客様も入っていただくようなイメージなのだ。それが濃厚に表れているのが、デザイン、そして取材写真の数々。5人の一体感や仲の良さが伝わってくるものになっている。

そもそも、このアライアンスには準備に8年も費やしている。土業同士の勉強会や交流会を繰り返しながら、理念を共有できるメンバーを集めていった。メンバーには行政書士がいない。間に合わせて集めるようなことはしていな

いからだ。理念の共有こそが強みだ。

アライアンスでは、事前に同意を得たお客様の情報を定例会で共有することにしている。ここら辺も名ばかりのアライアンスとは異なるところ。一方で、お客様によって、サービスの提供のしかたはさまざまに形を変える。

「でも、PRはワンパッケージにしています」と話す小木氏。パンフレット、名刺はもちろん、PV動画（約4分）まで用意しているこだわりよう。セミナーもアライアンスとして開催している。PVはそれらのセミナーで上映するためのもの。

表現しているのは「若さ、情熱、行動力」。伝わるのはアライアンスの「一体感」。こうした力で新しいマーケットを切り拓いていく。